

船舶インシデント調査報告書

平成30年10月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	座洲
発生日時	平成30年6月10日 14時45分ごろ
発生場所	香川県坂出市櫃石島 ^{ひつし} 東方沖 櫃石港4号防波堤灯台から真方位031°860m付近 (概位 北緯34°25.4′ 東経133°48.8′)
インシデントの概要	プレジャーボートやすらぎ丸は、東南東進中、浅所に座洲した。
インシデント調査の経過	平成30年6月22日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート やすらぎ丸、5トン未満（長さ5.63m）
船舶番号、船舶所有者等	271-20200岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風速 約2.7m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時、潮流 微弱な西北西流
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、櫃石島東方沖で釣りをしながら漂泊中、潮流に流されたので、潮上りの目的で、約5ノットの対地速力として東南東進した。</p> <p>船長は、本船が停止したので、海底をのぞき込んだところ、鳴瀬の浅礁域にある浅所（以下「本件浅所」という。）に座洲したことを知った。</p> <p>船長は、マリーナに携帯電話で救助の依頼を行った後、海上保安庁に本インシデントの発生を通報した。</p> <p>本船は、自然離礁したので、自力で航行して帰港した。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.5mであった。</p> <p>船長は、これまでに鳴瀬の浅礁域付近で釣りを行った経験が数回あり、浅瀬や暗岩が存在することを知っていた。</p> <p>船長は、釣りを行っているときにGPSプロッターを使用していなかった。</p>
分析	本船は、櫃石島東方沖を潮上りの目的で東南東進中、船長が、GPSプロッターを使用するなどして船位の確認を適切に行っていなかったことから、本件浅所付近を航行し、本件浅所に座洲したものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、櫃石島東方沖を潮上りの目的で東南東進中、船長が、GPSプロッターを使用するなどして船位の確認を適切に行っていなかったため、本件浅所付近を航行し、本件浅所に座洲

	したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浅礁域付近で釣りをを行う際は、浅瀬や暗岩が存在する可能性があるので、慣れた海域であっても浅所に近づかないようGPSプロッターを活用して船位の確認を適切に行うこと。